

フードトラックと実店舗の両輪で
ブランド構築
飲食店の新しい形とこれからの働き方



事業に役立つ!!

補助金 活用術

事業再構築 補助金

- 1 中心市街地の店舗
コロナで売り上げ激減
- 2 フードトラックで密を
避けて店の味を届ける
- 3 新しい飲食店の形と
働き方のロールモデルに

今回の
取材先

株式会社プロスアップ

代表取締役

原田 佳和 さん

築き上げた味を、
実店舗以外でも
提供できるように
なりました!



【事業者情報】

株式会社プロスアップ

本社所在地: 仙台市青葉区一番町1-15-19



株式会社プロスアップHP



原田佳和さんは、「だしのギャラリー」をコンセプトに多彩なだしと自家製麺を組み合わせたラーメン店「だし廊」を創業。多店舗展開を視野に2018年に株式会社プロスアップを設立。2020年に3号店を出店した直後に新型コロナウイルスの感染拡大により、収益状況が一気に悪化しました。新たな収益の柱を確立する必要性を感じ、事業再構築補助金を活用してフードトラックによる営業を開始しました。

1 中心市街地の店舗 コロナで売り上げ激減

感染症の拡大に伴い、テレワーク普及や外出・外食が敬遠され売上が減少。3店舗全て市街地中心部に outlet していたことから売上の回復が見込めない状況に陥りました。また、海外進出を計画した採用の強化をしていたため人員が過剰に。テイクアウトやECサイトなど新たな販売方法も試みたものの、減少した売上の補填にはつながらず、雇用維持のために新しい収益の柱が必要でした。



2 フードトラックで密を 避けて店の味を届ける



実店舗への集客が難しい一方、人員は過剰だったことから、人手を活用してフードトラックで新たな商圏へ乗り出し、密を避けて営業しようと考えました。宮城県内にはラーメンのフードトラックの競合が少なく、さいわい「だし廊」の認知度も上がってきたと実感していたため、勝算があると考え事業再構築補助金を申請。補助事業でセントラルキッチンとトラック内の厨房設備を導入しました。セントラルキッチンで仕込みを済ませ、フードトラックでは加熱して、盛り付けるのみの作業を想定しました。

3 新しい飲食店の形と働き方のロールモデルに



1 イベント、商業施設等に出店

2021年の秋頃からレンタルトラックでイベントや商業施設、プロ野球場などへ出店。限られた設備で無駄のないオペレーションの実現と、店舗と同じ品質の美味しいラーメンの提供に向けて試行錯誤しました。それを踏まえて、2022年8月から自前のフードトラックでの営業を開始。軽自動車よりも大きな1.5tトラックを導入したことで、提供する商品によってフードトラック内の設備を柔軟に変えることができるため、今後は、だしを活かした持ち帰り総菜やスイーツも提供する計画です。

3 飲食店の新形態モデルとして

フードトラックでの出店には飲食店の新たな可能性があります。季節や曜日時間帯、イベント、地域特性などの要素を分析し、ニーズに合う営業ができるのは大きな強みで、お客様を待つのではなく、お客様のいる場所に商品を提供することが可能です。また、感染症がまん延すると市街地での勤務をためらう従業員も、密を避けて働くことができます。将来的には「週末起業」を目指す人へのれん分けなど、多様な働き方も提案したいです。さらに、今後ECサイトでの販売も強化し、三本柱で「だし廊」ブランドを築いていきたいです。

2 店舗とフードトラックの相乗効果

コロナで痛感した実店舗の弱点は、場所を動かさず商圏が固定されることで、SNSを駆使しても店舗に来ていただけるお客様は限られます。反面、フードトラックは、様々な場所で直接お客様に食べていただけます。色々な場所にフードトラックで出向いて味を知ってもらい、店にも足を運んでいたく相乗効果を期待しています。補助金事業はスタートしたばかりですが、イベント等への出店の引き合いは多く、売り上げも好調です。



！申請時のポイント

事業計画作成にあたり、公募要領をしっかりと確認し、審査項目や加点項目を押さえた上で、オリジナリティを前面に出しました。意識したのは「自社の強みをどう生かして事業を再構築し、どのような未来を実現するのか」というストーリー性を大事にしました。読む人にいかに伝わるかも重要なので、一通り書き上げた後で経営者仲間や支援機関の担当者に見ていただきアドバイスをもらいました。



事業再構築補助金とは

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、社会の変化に対応し、思い切った事業の再構築に取り組む中小企業等を支援する国の補助金です。

詳しくはこちら！



地域産業応援金とは

事業再構築補助金などの交付決定を受けた方に、別途、仙台市から交付決定額に応じた金額を支給します。

詳しくはこちら！



仙台市中小企業応援窓口 にご相談ください

各種補助金の紹介・申請書類の作成支援などを行っています。中小企業診断士、社会保険労務士、税理士などの専門家が無料で相談に応じますので是非ご利用ください。

TEL:022-724-1122(平日9:00-17:00)
E-mail: ouen@siip.city.sendai.jp

仙台市
中小企業応援窓口

[運営]
公益財団法人仙台市産業振興事業団

<https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/>

詳しくはこちら

